

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,  
Please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-30466

(43)公開日 平成5年(1993)2月5日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
H 04 N 5/91  
G 11 B 20/02

識別記号 庁内整理番号  
P 8324-5C  
L 7426-5D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数6 (全 9 頁)

(21)出願番号

特願平3-203223

(22)出願日

平成3年(1991)7月19日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 斎藤 熱

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー

株式会社内

(72)発明者 城地 義樹

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー

株式会社内

(74)代理人 弁理士 佐藤 隆久

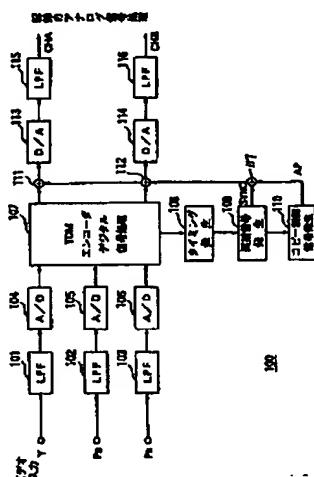
(54)【発明の名称】映像信号記録装置および信号記録媒体

(57)【要約】 (修正有)

【目的】違法ダビングを有效地に防止するコピー禁示信号またはコピー許可信号を記録する映像信号記録装置。

【構成】ハイビジョン用信号記録処理回路100において、コピー禁示のアンチバイラシー信号またはコピー許可のバイロット信号が記録される。TDMエンコーダ107から同期信号のタイミングを検出するタイミング発生回路108、同期信号発生タイミングにおいて同期信号SYNCを発生する同期信号発生回路109、同期信号の後のリザーブエリアにコピー禁示または許可を示すコピー制御信号を発生するコピー制御信号発生回路110を有する。同期信号SYNCおよびコピー制御信号は信号加算回路111、112を介してそれぞれ同期信号挿入位置およびリザーブエリアに時間軸多重されて重畠され、ビデオテープに記録される。

【効果】再生画像に実質的な劣化を生じさせないで検出容易、違法コピー難かしい禁示信号を信号記録媒体に記録する映像信号記録装置。



## 〔特許請求の範囲〕

【請求項1】 信号記録媒体のビデオトラック内のリザーブエリアに、該リザーブエリアに記録されるベースバンド信号にコピー制御信号を時分割多重して記録することを特徴とする映像信号記録装置。

【請求項2】 周波数変調後の映像信号に、該映像信号の周波数帯域より低い周波数を有するコピー制御を示す信号を周波数多重して信号記録媒体に記録することを特徴とする映像信号記録装置。

【請求項3】 信号記録媒体のインデックスエリア内にインデックスなどのデータの一部としてコピー制御信号を記録すること特徴とする映像信号記録装置。

【請求項4】 そのビデオトラック内のリザーブエリアに、該リザーブエリアに記録されるベースバンド信号にコピー制御信号が時分割多重化されて記録されていることを特徴とする信号記録媒体。

【請求項5】 周波数変調後の映像信号に、該周波数帯域より低い周波数を有するコピー制御信号が周波数多重されて記録されていることを特徴とする信号記録媒体。

【請求項6】 そのインデックスエリアに、該インデックスエリアに記録されるベースバンド信号にコピー制御信号が重畳されて記録されていることを特徴とする信号記録媒体。

## 〔発明の詳細な説明〕

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は映像信号処理装置に関するものであり、特に、違法に映像信号をコピー（またはダビング）することを禁止または適法に許可する映像信号記録装置およびかかるコピー禁止または許可を示すコピー制御信号が記録された信号記録媒体に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 ビデオテープに記録された映像信号の違法なコピーを禁止する方法としては、たとえば、民生用VTRなどにおいて、コピーを禁止すること示すアンチバイラシー信号を同期信号部分に組み込むことが試みられている。しかしながら、同期信号部分にアンチバイラシー信号を組み込む方法は同期信号部分をすげ替えることにより、容易にアンチバイラシー信号が解除されてしまうという問題がある。違法コピーを防止する他の方法としては、映像信号の周波数帯域よりも周波数の高いアンチバイラシー信号を映像信号に重畳させる方法が提案されている。この方法は、映像信号の周波数帯域よりも高い周波数領域にアンチバイラシー信号が存在するからモニタ装置で再生した画像が劣化するという問題は少ない。しかしながら、簡単な回路構成のローパスフィルタでアンチバイラシー信号が容易に除去されてしまい、違法コピーを有效地に防止できない。違法コピーを防止する方法としてはその他の方法も考えられるが、モニタ装置

$$f_{AP} = (N + 1/2) f_s$$

Nは信号発生回路23内にあるPLL回路内の分周回路

に通常の形態で再生させた場合にその再生画像に劣化を惹起させないで効果的に違法コピーを防止する有効な方法はまだ実現されていない。

【0003】かかる状況に鑑みて、本願の発明者は、ハイビジョン用モニタ装置などにおける再生映像信号に実質的な画質劣化を生じさせず、しかもその解除が事実上困難なアンチバイラシー信号を映像信号に重畳する映像信号処理装置を提案している（たとえば、平成3年6月14日に特許出願した「映像信号処理装置」）。図10はかかるハイビジョン用ビデオ装置などの映像信号処理装置の全体構成図であり、図11は映像信号に重畳されるアンチバイラシー信号の周波数特性図であり、図12はアンチバイラシー信号が間欠的に重畳されるタイミングを示す図である。

【0004】図10において、第1のビデオ装置1から出力される再生映像信号をモニタ装置5において再生画像を表示し、第2のビデオ装置6において記録する。第1のビデオ装置1で再生された輝度信号Y、第1の色差信号P<sub>u</sub>および第2の色差信号P<sub>v</sub>からなる映像信号を、第2のビデオ装置6において記録することを禁止させるため、アンチバイラシー信号発生回路2においてアンチバイラシー信号が発生され、信号重畳回路3において再生映像信号にアンチバイラシー信号が重畳される。上記アンチバイラシー信号が重畳された映像信号の記録を禁止するため、アンチバイラシー信号検出回路7がアンチバイラシー信号を検出して第2のビデオ装置6に記録の禁止を示す信号STOPを出力する。

【0005】アンチバイラシー信号発生回路2は、マトリクス回路21、制御回路22、信号発生回路23およびアンチバイラシー信号分配回路24を有している。マトリクス回路21は輝度信号Y、第1の色差信号P<sub>u</sub>および第2の色差信号P<sub>v</sub>から公知のマトリクス演算によって3原色G、B、Rに変換する。制御回路22は変換されたG、B、Rの成分比率を分析して、アンチバイラシー信号分配回路24において算出されるG、B、Rごとのアンチバイラシー信号p<sub>y</sub>、p<sub>b</sub>、p<sub>r</sub>の比率を算出する。アンチバイラシー信号分配回路24は信号発生回路23から出力される周波数信号を用いて、制御回路22で算出されたアンチバイラシー信号配分比率に基づいてアンチバイラシー信号p<sub>y</sub>、p<sub>b</sub>、p<sub>r</sub>を出力する。信号重畳回路3は上記アンチバイラシー信号p<sub>y</sub>、p<sub>b</sub>、p<sub>r</sub>をそれぞれ輝度信号Y、第1の色差信号P<sub>u</sub>、第2の色差信号P<sub>v</sub>に重畳する。

【0006】図11に示すように、アンチバイラシー信号のアンチバイラシー周波数f<sub>AP</sub>は、水平同期を規定する水平走査周波数f<sub>s</sub>に対して下記式1に基づく周波数インターリーフ関係に設定される。

## (1)

50 (図示せず) の分周率である。アンチバイラシー信号

は、上記周波数関係を有する他、違法コピーを禁止させるために検出可能な振幅を有するとともに、モニタ装置5において再生画像に実質的な劣化を生じさせないあるレベル以下の振幅を有している。

【0007】図12に示すように、上記アンチバイラシ一信号はモニタ装置における再生画像の劣化が実質的に生じないように、さらに間欠的なタイミングで重畠される。つまり、アンチバイラシ一信号は全フィールドごとに重畠されるのではなく、複数フィールドごとに1フィールドだけ輝度信号Y、第1の色差信号P<sub>1</sub>、第2の色差信号P<sub>2</sub>に重畠される。ただし、アンチバイラシ一信号は映像信号の信号領域、たとえば、輝度信号Yについて、3値同期信号に続く、水平プランギング期間内の実質的な輝度信号成分にアンチバイラシ一信号p<sub>y</sub>が重畠され、同期信号部分にはアンチバイラシ一信号p<sub>y</sub>を重畠せず、同期信号部分にアンチバイラシ一信号を重畠することによる同期乱れを生じさせない。映像信号へのパイロット信号の重畠（実質的な信号成分への重畠）は、ある強度（振幅）で、モニタ装置を監視する人間の目の積分効果の残らない時間T<sub>01</sub>だけ重畠し、目の積分効果がリセットされる間隔T<sub>02</sub>、その重畠は禁止される。このように、デューティを変化させることにより、目に対する等価強度を低下させている。このように、周波数f<sub>1</sub>と周波数インターリープ関係にあり、上記振幅範囲内にあるアンチバイラシ一信号を映像信号に重畠してもTV画面52における再生画像には事実上影響がでない。

【0008】図10のアンチバイラシ一信号検出回路7内には、マトリクス回路71、制御回路72、信号合成回路73および検出回路74が設けられている。マトリクス回路71はアンチバイラシ一信号発生回路2内のマトリクス回路21と同様にアンチバイラシ一信号が重畠されている輝度信号Y、第1の色差信号P<sub>1</sub>、第2の色差信号P<sub>2</sub>からG、B、Rに変換する。制御回路72もアンチバイラシ一信号発生回路2内の制御回路22と同様にアンチバイラシ一信号配分x<sub>g</sub>、x<sub>b</sub>、x<sub>r</sub>を算出する。信号合成回路73はこの配分比の極性から同位相でアンチバイラシ一信号を合成する。この合成されたアンチバイラシ一信号Pのレベルが所定レベル以上のとき検出回路74からダビング禁止信号STOPが第2のビデオ装置6に出力され、第2のビデオ装置6は入力された映像信号の記録を停止する。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】図10～図12を参照して述べた映像信号処理装置においては、周波数f<sub>1</sub>と周波数インターリープ関係にあり、再生画像に画質劣化を生じさせない程度の振幅範囲にあるアンチバイラシ一信号を映像信号に重畠し、コピー禁止か否かの判断をかかる重畠されたアンチバイラシ一信号を検出しているが、より簡単な回路構成でコピー禁止するまたは適法にコピーを許可するコピー制御信号を信号記録媒体に記録

し、またそのコピー制御信号を信号記録媒体から正確に検出することが望まれている。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記問題を解決するため、本発明においては、伝送用の映像（ビデオ）信号出力とは異なる形態でコピー禁止するまたはコピーを許可するコピー制御信号を信号記録媒体に記録する。本発明の第1の形態によれば、信号記録媒体のビデオトラック内のリザーブエリアに、該リザーブエリアに記録されるベースバンド信号にコピー禁止または許可するコピー制御信号を時分割多重して記録する映像信号記録装置が提供される。本発明の第2の形態によれば、周波数変調後の映像信号の周波数帯域よりも低い周波数を有するコピー制御信号を映像信号に周波数多重して信号記録媒体に記録する映像信号記録装置が提供される。本発明の第3の形態によれば、信号記録媒体のインデックスエリア内にインデックスなどのデータの一部としてコピー制御信号を記録する映像信号記録装置が提供される。または本発明によれば、上記映像信号記録装置によって記録された信号記録媒体、すなわち、（1）そのビデオトラック内のリザーブエリアにベースバンド信号にコピー制御信号が時分割多重化によって記録されている信号記録媒体、（2）周波数変調後の映像信号の周波数帯域よりも低い周波数を有するコピー制御信号が映像信号に周波数多重によって記録されている信号記録媒体、および、（3）そのインデックスエリアにコピー制御信号が記録されている信号記録媒体が提供される。

【0011】

【作用】本発明の第1の形態の映像信号記録装置によれば、リザーブエリアに時分割多重化信号として規定される最大レベルまでコピー制御信号を記録することができる。したがって、再生のS/Nが充分高くとれ、コピー制御信号の検出が容易となる。一方、リザーブエリアに記録されたコピー制御信号は再生映像信号にはなんら悪影響を与えない。本発明の第2の形態の映像信号記録装置によれば、コピー制御信号の周波数帯域が映像信号の周波数帯域とは異なるので、充分大きい振幅のコピー制御信号を周波数多重化できる。この場合も、再生のS/Nが充分高くとれ、コピー制御信号の検出が容易となる。一方、リザーブエリアに記録されたコピー制御信号は再生映像信号には実質的になんら悪影響を与えない。本発明の第3の形態の映像信号記録装置によれば、コピー制御信号がインデックスエリアに記録されるので、再生映像信号になんらの悪影響を与えず、その検出が容易である。以上のコピー制御信号はいずれも、同期信号部分に挿入されるのではないので、同期を乱すことがない。またこのように方法で記録された信号記録媒体がビデオ装置などの映像信号処理装置に装荷された場合、上述したように検出が容易に行われ、違法コピーを容易に禁止することができる。また、適法のコピーを許

可することができる。

【0012】

【実施例】図1に本発明の映像信号記録装置の第1実施例として、ハイビジョン用ビデオ装置内の信号記録処理回路100を示す。信号記録処理回路100は、ビデオテープに記録されたビデオ信号のリニアリティ補正用のランプ信号が記録される部分のうち未使用部分であるリザーブエリアに記録されるコピーを禁止または許可を示すコピー制御信号を出力し、図示しない回転ドラムを介してビデオテープに記録される。信号記録処理回路100は、ビデオ信号(映像信号)として、アナログの輝度信号Y、第1の色差信号P<sub>u</sub>、第2の色差信号P<sub>v</sub>に含まれる低周波成分を通過させるローパスフィルタ(LPF)101～103、LPF101～103の出力をデジタル映像信号に変換するA/Dコンバータ104～106、A/Dコンバータ104～106からのデジタル映像信号を、デジタルフィルタリング、時間軸圧縮、伸長、シャフリングなどを行う時分割多重(TDM)エンコーダ107、このTDMエンコーダからの2チャネルのデジタル出力をアナログ映像信号に変換するD/Aコンバータ113、114、および、LPF115、116を有している。図1には示していないが、LPF115、116の後段には、たとえば、図7に示されるアナログ信号処理回路207、FM変調回路208、磁気回転ドラム215に接続された記録增幅回路211と同等の回路が設けられる。信号記録処理回路100にはさらに、TDMエンコーダ107に接続されたタイミング発生回路108、同期信号発生回路109、コピー制御信号発生回路110、および、信号加算回路111、112が設けられている。

【0013】図2に図1の信号記録処理回路100からの信号が回転ドラムによって記録されるビデオテープのフォーマット(記録パターン)の例を示す。本実施例においては、同期信号SYNC記録部分、バースト信号記録部分およびID信号記録部分を有する4.5Hの長さのプリアンブル部PREAMBLEに続く、ビデオ信号部分に、たとえば、リニアリティ補正のために設けられたランプ信号を記録する部分のうちの未使用部分であるリザーブエリアにコピー制御信号を記録する。

【0014】タイミング発生回路108はTDMエンコーダ107の処理信号から同期信号SYNCが記録される部分が位置するタイミングを検出し、そのタイミング信号を同期信号発生回路109に出力する。同期信号発生回路109はそのタイミングで同期信号SYNCを発生し、信号加算回路117に出力する。信号加算回路117はその同期信号SYNCを信号加算回路111、112に出力してTDMエンコーダ107からの信号の同期信号位置に上記同期信号SYNCを挿入する。同期信号発生回路109からは同期信号SYNCを発生したタイミング信号がコピー制御信号発生回路110に出力さ

れる。コピー制御信号発生回路110は同期信号発生回路109からのタイミングを参照してランプ信号を記録する位置に続くリザーブエリアが位置するタイミングを検出し、コピー禁止を示すアンチバイラシーアクションAPまたはコピー許可信号を信号加算回路117に出力する。信号加算回路117はリザーブエリアにアンチバイラシーアクションAPまたはコピー許可信号を挿入する。これにより、リザーブエリアにコピー制御信号が挿入された信号が回転ドラムを介してビデオテープに記録される。

【0015】図4にコピー制御信号の第1例を示す。図4(A)はコピー制御信号発生回路110で発生された論理「1」の信号がリザーブエリアに記録され、コピーを許可すること、(B)は逆にコピー制御信号発生回路110から信号は発生されずリザーブエリアは未使用のままであり、コピー禁止状態であることを示している。リザーブエリアになにも記録されていない場合には、そのビデオテープのコピーが禁止されるから、この例では、アンチバイラシーアクションAPは出力されず、コピー制御信号発生回路110はコピーを許可する場合のみ論理「1」のパイロット信号を出力するように構成されている。

【0016】図5にコピー制御信号の第2例を示す。図5(A)はコピー制御信号発生回路110で発生された「10101」のデジタルパイロット信号がリザーブエリアに記録された場合のみコピー可能であり、(B)はコピー制御信号発生回路110で発生された「10110」のデジタルアンチバイラシーアクションAPがリザーブエリアに記録されてコピーを禁止する例を示す。この例においても、コピーを禁止するためリザーブエリアを、図5(B)に示したデータパターンに代えて、図4(B)に示したデータなしの状態にすることができる。

【0017】図6にコピー制御信号の第3例を示す。図6(A)はコピー制御信号発生回路110で発生された直流成分に交流成分を重畠させたパイロット信号がリザーブエリアに記録された場合のみコピー可能であり、(B)はリザーブエリアにはなにも記録されていらずコピーを禁止する例を示す。

【0018】リザーブエリアに記録され、コピーを禁止あるいは許可するコピー制御信号のデータパターンは上述した例に限らず、他の種々のパターンを用いることができる。ビデオ装置にはビデオテープから上記コピー制御信号を検出するコピー禁止信号検出回路が設けられている。コピー禁止信号検出回路は、同期信号SYNCを検出した後、リザーブエリアを検出し、そのリザーブエリアに記録されている信号が上述した特定のパイロットデータパターンでない限り記録回路の動作を禁止する。この実施例においては、TDM信号として定められている最大レベルまでコピー制御信号を記録できるから、再生のS/Nが充分とれ、コピー制御信号の検出が確実になる。その一方で、再生映像信号にはなんらの悪影響を

与えない。もし、違法にコピーを行うには上述したリザーブエリアを検出し、さらに上述した信号を検出する複雑な構成の回路が必要になり、容易に違法コピーを行うことができない。

【0019】図7に本発明の映像信号記録装置の第2実施例としてのハイビジョン用ビデオ装置200内の信号記録系200Aおよび信号再生系200Bの回路構成を示す。このビデオ装置200においては、図8に示すように、FM変調された映像信号の周波数帯域以下の低い周波数を有するパイロット信号Pまたはアンチバイラシ一信号A Pを映像信号に周波数多重化してビデオテープに記録する。この例においては、パイロット信号Pが存在するときコピーを許可し、信号が存在しないときコピーを禁止する。

【0020】信号記録系200Aは図1に示した信号記録処理回路100とほぼ同様の回路構成である。しかしながら、図1に示したコピー制御信号発生回路110に代えて、FM変調回路208の後段に信号加算回路210を付加し、コピー許可を示すパイロット信号を発生するパイロット信号発生回路209を別途設けている。信号再生系200Bは回転ドラム215で検出した信号を增幅する再生増幅回路221、ハイパスフィルタ(HPF)222、FM復調回路223、アナログ信号処理回路224、LPF225、A/Dコンバータ226、TDMエンコーダ203と逆の信号処理を行うTDMデコーダ227、D/Aコンバータ228、LPF229を有している。信号再生系200Bはさらに、LPF231、検波回路232、ORゲート回路233およびコピー禁止処理回路234からなるコピー信号処理回路230を有している。以上の回路構成は輝度信号Yに関する1系統、および、AチャネルCHAに関する1系統のみ示したが、他の系統も上記同様の回路構成である。

【0021】TDM信号はFM変調回路208においてFM変調されてビデオテープに記録されるが、FM変調後の周波数スペクトルは図8に示したように低周波では信号成分が非常に少なくなる。パイロット信号発生回路209は、コピーを許可するときのみ、映像信号についてFM変調した周波数スペクトルよりも低い周波数のパイロット信号Pを信号加算回路210に出力して、FM変調された映像信号にパイロット信号Pを周波数多重する。LPF231は上記パイロット信号Pのみを通過させ、検波回路232が通過されたパイロット信号Pを検波してパイロット信号Pを検出する。ORゲート回路233でいずれかのチャネルにパイロット信号Pが含まれることが検出され、コピー禁止処理回路234はパイロット信号Pが存在するときのみTDMデコーダ227の動作を許可して映像信号の正常な再生動作を可能にする。一方、コピー信号処理回路230は上記パイロット信号Pが検出されない時はTDMデコーダ227にその旨を通報する。この場合、TDMデコーダ227は、た

とえば、再生ビデオ信号にビデオ信号の周波数帯域内の周波数で大きい振幅の信号を重畠して出力して再生画像を著しく劣化させ、事実上、コピーを無効にする。FM変調後の映像信号の周波数帯域とは異なる周波数のパイロット信号Pを用いることで、コピー信号処理回路230におけるパイロット信号Pの検出は容易になる。またこのパイロット信号の周波数はFM変調された映像信号の周波数帯域とは異なるから、パイロット信号発生回路209で発生するパイロット信号のレベルを大きくとることができ、再生S/Nが良好でパイロット信号の検出がより容易になる。

【0022】パイロット信号Pの記録の方法としては、(1)ビデオトラック全体に、A、Bチャネルとも同じ周波数のパイロット信号を重畠して記録する方法、

(2)数トラックごとにチャネルごと異なる周波数のパイロット信号を重畠して記録する方法、(3)特定セグメントのみに上記いずれかの周波数のパイロット信号を重畠して記録する方法、(4)これらを組合せた方法など、種々の方法をとることができる。

【0023】図9に本発明の映像信号記録装置の第3実施例としてのハイビジョン用ビデオ装置の回路構成を示す。図9の回路図は、図1および図7を参照して述べた映像信号を記録する信号記録系200Aに対応する信号記録系200A'、および、映像信号を再生する信号再生系200Bに対応する信号再生系200B'の他、音声信号処理系300A、300Bをも示している。図9のビデオ装置にはさらにコピー禁止処理回路400が設けられている。この実施例は図2に示したビデオテープのフォーマットに示されるように、オーディオトラックAUDIOとビデオトラックとの間にインデックス部IDが設けられている場合、このインデックス部IDにコピー禁止または許可を示すコピー制御信号を記録する。

【0024】インデックス部IDにはタイムコード、プログラム番号、頭出しフラグなどのインデックスが記録されるが、本実施例では、このデータのうちの1~数ビットをコピー制御データとして割り当てる。たとえば、1ビットを割り当てた場合、「1」のときはコピー許可、「0」のときはコピー禁止とする。あるいはこの逆の論理でもよい。また2ビットを割り当てたときは、「00」のときはコピー許可、「01」のときは1回だけコピー許可、「11」のときはコピー禁止とする。図9の回路構成は、インデックス信号がオーディオ信号と同様に処理される場合の回路構成である。

【0025】信号記録系200A'には、スイッチ213、214が設けられている。これらのスイッチは、音声信号処理系300A、300Bからコピー制御信号を重畠するとき図示実線の位置に付勢される。音声信号処理系300A、300Bはそれぞれ、2チャネル分のオーディオ信号の記録および再生を行う。チャネル1、2

についての音声信号処理系300AはLPF301, A/Dコンバータ302, エラー訂正回路303, RAM304, 8/10ビット変調回路305, NRZI処理回路306からなるオーディオ信号記録回路を有している。また、音声信号処理系300Aは、イコライザ311, NRZI処理回路312, 8/10ビット復調回路313, RAM304, エラー訂正回路303, D/Aコンバータ316, LPF317を有している。RAM304およびエラー訂正回路303は記録および再生に共用される。コピー禁止処理回路400は、システムコントロール用のマイクロコンピュータ401, インデックス処理用マイクロコンピュータ402, および、コピー禁止信号処理回路403を有している。

【0026】システムコントロール用のマイクロコンピュータ401はコピー禁止または許可の全体制御を行うため、スイッチ213, 214を付勢または消勢し、タイミング信号およびコピーを制御データをインデックス処理用マイクロコンピュータ402との間が伝送する。コピー制御データを記録するときは、システムコントロール用のマイクロコンピュータ401はスイッチ213, 214を図示実線の状態に付勢し、コピー制御データをインデックス処理用マイクロコンピュータ402に送出する。インデックス処理用マイクロコンピュータ402にシステムコントロール用のマイクロコンピュータ401からのタイミングでコピー制御データをインデックスデータとしてRAM304に書き込む。RAM304に書き込まれたコピー制御データはインデックスデータとして変調され回転ドラム215を介してビデオテープに記録される。再生時、回転ドラム215で検出されたコピー制御データはインデックスデータとして復調され、RAM304に記憶される。インデックス処理用マイクロコンピュータ402はシステムコントロール用のマイクロコンピュータ401からのタイミングに応答して、RAM304に記憶された再生コピー制御データを入力し、コピー禁止を示すデータか否かを判断する。もし、コピー禁止を示すデータの場合、インデックス処理用マイクロコンピュータ402はコピー禁止信号処理回路403を駆動し、TDMデコーダ227にコピー禁止であることを通報する。TDMデコーダ227はコピー禁止情報を受信した場合、たとえば、出力ビデオ信号にこのビデオ信号の周波数帯域内で振幅の大きなバイロット信号を重畳して再生画像を著しく劣化させ、事実上、コピーを禁止状態にする。

【0027】本発明の実施例としては、上記ビデオ装置によってコピー制御信号が記録されたビデオテープなどの信号記録媒体が得られる。このような信号記録媒体を用いれば、上述したようにコピー制御情報が検出される。

【0028】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、再

生画像に実質的な劣化を生じさせないで、検出が容易な一方、違法コピーが難しいコピー禁止信号を信号記録媒体に記録する映像信号記録装置が提供される。または本発明によれば、かかる映像信号記録装置によって上記コピー禁止信号が記録された信号記録媒体が提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の映像信号記録装置の第1実施例のビデオ装置内の信号記録処理回路の部分構成図である。

【図2】図1に示した信号記録処理回路を介して記録されるビデオテープの記録フォーマットを示す図である。

【図3】図2に示したビデオテープ内のプリアンブル部および図1に示した信号記録処理回路によってコピー制御信号が記録されるリザーブエリアを示す図である。

【図4】図1に示す信号記録処理回路を介してのビデオテープのリザーブエリアに記録されるコピー制御を示すデータパターンの第1例を示す図である。

【図5】図1に示す信号記録処理回路を介してのビデオテープのリザーブエリアに記録されるコピー制御を示すデータパターンの第2例を示す図である。

【図6】図1に示す信号記録処理回路を介してのビデオテープのリザーブエリアに記録されるコピー制御を示すデータパターンの第3例を示す図である。

【図7】本発明の映像信号記録装置の第2実施例としてのビデオ装置の映像信号記録・再生処理系の構成図である。

【図8】図2のビデオ装置においてFM変調後の映像信号とこの映像信号に周波数多重化重畳されるバイロット信号の周波数関係を示す図である。

【図9】本発明の映像信号記録装置の第3実施例としてのビデオ装置の信号処理系の構成図である。

【図10】本発明の先行技術としてのビデオテープにアンチバイラシー信号を記録する映像信号処理装置の構成を示す図である。

【図11】図10に示した映像信号処理装置におけるアンチバイラシー信号の周波数特性図である。

【図12】図10に示した映像信号処理装置において映像信号に重畳するアンチバイラシーの重畳タイミング図である。

【符号の説明】

100···信号記録処理回路, 107···TDMエンコーダ,

108···タイミング発生回路, 109···同期信号発生回路,

110···コピー制御信号発生回路, 200A···信号記録系,

200B···信号再生系, 209···バイロット信号発生回路,

215···回転ドラム, 227···TDMデコーダ,

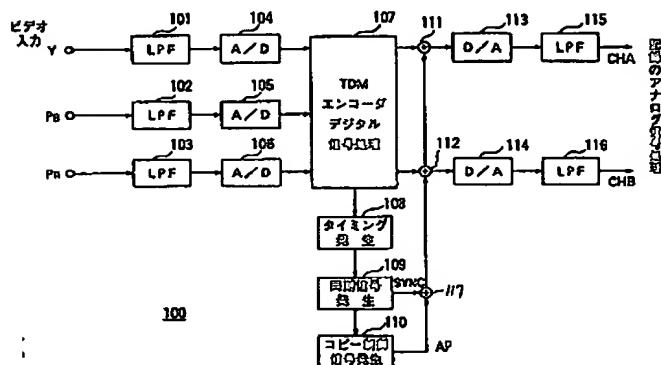
230···コピー信号処理回路, 232···検波回路,

234···コピー禁止処理回路, 300A, 300B···

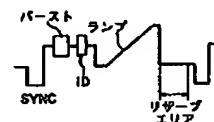
・音声信号処理系,  
400···コピー禁止処理回路,  
401···システムコントロール用のマイクロコンピュ

ータ,  
402···インデックス処理用マイクロコンピュータ,  
403···コピー禁止信号処理回路。

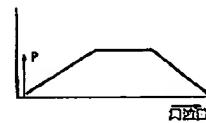
【図1】



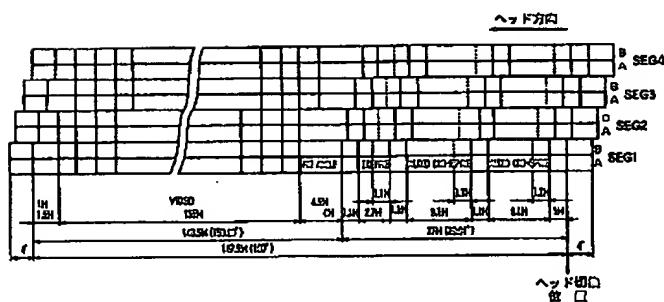
【図3】



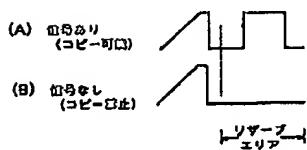
【図8】



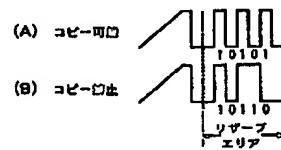
【図2】



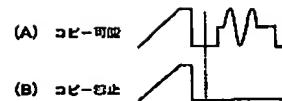
【図4】



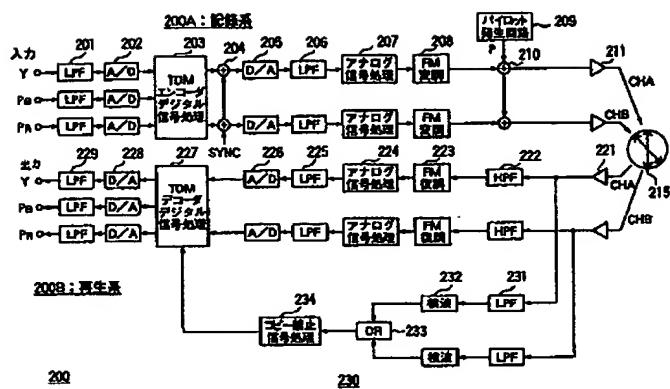
【図5】



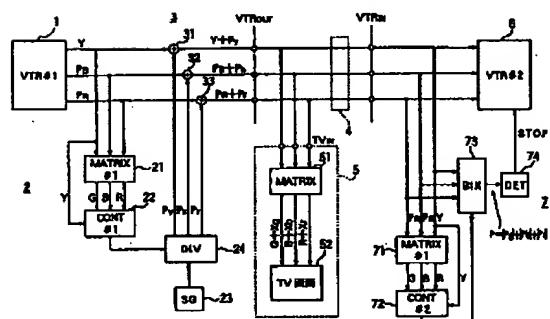
【図6】



[図7]



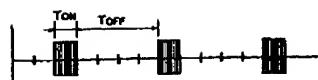
[図10]



[図11]



[図12]



【図9】

